

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	富士フイルム株式会社	事業所名	大宮事業所		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISO14001やグリーン経営認証を取得し、環境に配慮した業者を選定基準にする。	○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認				
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	3年に一回、ホームページなどで確認する。	○	-	-
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認				
04	積載率の向上	製品・部品の出荷包装には、標準箱を優先して使用する。これにより荷姿の共通化を図り積載効率向上に努める。	○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上				
04	積載率の向上	梱包資材の軽量化・小型化を推進する。	○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施				
04	積載率の向上	事前に積み込み物量を把握し最適な車種・台数・便数を手配する。	○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注				
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	混載便の利用により、効率的な配送に取り組む。	○	○	○
(01)	混載便利用の取組				

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	共同輸配送により、効率的な配送に取り組む。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	環境対応車(CNG車)の利用,エコドライブ(アイドリングストップ)推進を物流業者に働きかける。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	3年に一回、貨物輸送事業者へのアンケートにて確認する。	○	-	-
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	3年に一回、貨物輸送事業者へのアンケートにて確認する。	○	-	-
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	「営業」「生産管理」に「最終発送時間」ルール徹底の働きかけをする。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	定期便での配送を徹底すると共に、緊急配送を極力避ける。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	弊社は住宅地に位置し、輸送トラックによる搬入搬出では渋滞・騒音を招きやすい。このため広い敷地を有する近隣の倉庫業者を活用することで環境への配慮をしている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 （ ）	3年に一回、貨物輸送事業者へのアンケートにて取組み状況を確認する。	○	-	-
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 （ ）	輸送トラックの構内駐車場を確保し、周辺道路での駐車待機時間をなくす。	○	○	○